

1. 内政

▼新内閣結成に向けた動き

・27日、フィラト自由民主党党首は、同党はフィラト党首以外の首相候補を擁立する意向である旨発言。ギンプ自由民主党党首は27日に、ルプ民主党党首は30日にフィラト自由民主党党首との多数派形成に向けた交渉に戻る用意がある旨発言。

・2日、ティモフティ大統領は、フィラト自由民主党党首及びルプ民主党党首と会談し、首班指名に向けた協議の再開を決定した旨発表。

▼議会の動き

・27日、ティモフティ大統領は、議会議長臨時代行の設置に関する法律を公布し、パリホヴィチ議会副議長が議長臨時代行に就任。29日、ギンプ自由民主党党首は、26日の議長代行設置の決定に関する違憲審査請求を憲法裁判所に行く意向である旨発言。2日、ディヤコフ民主党名誉党首は、同党から議長候補を擁立する意向はない旨発言。

・30日、選挙制度変更の問題に関する議会特別委員会は、小選挙区・比例区併用制の導入の取消しを提案。

・30日、ストリレツ自由民主党会派代表は、同党が議会選挙法改正及び新検事総長選出等に関する性急な採択に賛成したのは与党連合形成及びフィラト内閣成立のための民主党の条件があったためである旨発言。

・3日、新検事総長選出の適法性に関する議会特別委員会は、新検事総長選出の取消し決議を提案。

・3日、議会は、議会での憲法裁判所判事の罷免を可能とする法案、4月19日に採択された議会選挙法改正を無効とする決議案、議会選挙における議席獲得のための政党の足切りラインを4%から6%に変更する法案、首相代行の権限を強化し閣僚等の任命・罷免権を付与する法案、国家汚職対策局の管轄を議会から内閣に変更する法案及びグリーン新検事総長選出に関する4月18日付決議を無効とする旨の決定をいずれも共産党及び自由民主党議員の賛成をもって採択。

・3日、フィラト自由民主党党首は、現状においては解散・繰上げ総選挙が自然な選択である旨述べ、個別案件では共産党と協力するとしつつ同党との連合の可能性は否定。同日、ヴォローニン共産党党首も、自由民主党との連合創設を否定。また、同日、ルプ民主党党首は、フィラト自由民主党党首とヴォローニン共産党党首の目的は繰上げ総選挙であるとして、民主党は自由民主党と共産党による採決に関し憲法裁判所に提訴する可能性に言及し、同日の議決によりEUとの連合協定交渉が無期限に延期される可能性がある旨発言。

▼その他

・1日、米NGO「フリーダム・ハウス」は、2012年の世界各国の報道の自由度評価を発表、モルドバの報道自由度を197か国中112位と評価。

2. 経済

▼マクロ経済

・29日、ミルゾエフIMF駐モルドバ事務所長は、2013年のモルドバのGDP成長率は4%を記録するであろう、この予測は第一に農業セクターの回復に基づいており、第1四半期においては輸出業界の状況が改善したため、経済成長が増加し始めた、しかしながら、長期的に見た経済成長は投資環境の変化に依存するとともに、今後、民間部門の効率化及び投資環境の改善という2つの構造改革が必要であろう旨発言。

3. 外政

▼3日の議会の動きに関する国外の反応

・3日、EUのアシュトン上級代表及びフィーレ欧州委員は、3日の一連の法採択は国家機関の独立を脅かし、モルドバの更なる民主主義の発展及び安定した法の支配を阻害するものとなり得ることを懸念する旨の共同声明を发出。

・3日、ブッキキオ・ベニス委員会委員長は、憲法裁判所判事を議会における信任を得るべき対象とするのは欧州基準と相反している旨の声明を发出。

・6日、ヤーグラン欧州評議会事務総長は、モルドバ議会が適切な協議を経ずに国家の政治体制に根本的な影響を与える数多くの法修正を行ったことに懸念を表明する声明を発表。同日、ミニョン欧州評議会議員会議(PACE)議長は、モルドバの全ての政治勢力に対し政党や個人的な利益ではなく国民の願望である欧州統合に向けた一致協力と呼びかける声明を発表。

4. 沿ドニエストル

・27日、合同管理委員会は、緊急会合を開催し、26日に沿ドニエストルが一方的に設置したドニエストル右岸ベンデル近郊ヴァルニツァの検問所の撤去を決定し、同日、同検問所は撤去。27日、ティモフティ大統領は、モルドバの国内情勢を更に不安定化させる沿ドニエストルの行為を非難。また、同日、レアンカ首相代行は、2013年OSCE議長国であるウクライナのコジャール外相との電話会談において安全地帯内の状況に関し協議し、コジャール外相は、沿ドニエストル紛争当事者双方に対し一方的措置を控えるよう呼びかける声明を发出。

・28日、カルポフ国家再統合問題担当副首相代行は、モルドバ政府関係者の復活祭休暇期間中の沿ドニエストル訪問が沿ドニエストル当局により禁止された旨発言。29日、沿ド

ニエストル「外務省」は、同情報を否定する声明を発表。

全地帯内の安定及び平和維持等に関し意見交換。

・30日、カルポフ副首相代行は、ヴァルニツァを訪問し、安

※本週報ではモルドバの首都名「キシニョフ」(ロシア語読み)を暫定的に「キシナウ」(モルドバ語読み)と表記しています。
(了)